

## 【京都市北区】紫竹学区でSC研修会

1月25日、京都市北区で住民の代表の方たちにセーフコミュニティについて説明をしました。



北区では、これまで各種統計資料、救急搬送データの分析、そして住民からのヒアリングなどから地域診断を進めています。今回は、地域の各組織の代表となる方たちに対して、セーフコミュニティの概念と進め方について、既存データから見てきた北区の特徴を交えてお話ししました。

今後、さらに地域診断を進めるため、地域活動が活発な紫竹地区においてアンケート調査を実施します。

## 【栄区】認証後のSC活動

1月27日、横浜市栄区において、SC活動の進捗状況や今後の進め方や体制等についてお伺いするとともに今後に向けて参考になる情報やアドバイスをさしあげました。

栄区の現地審査が行われたのは、2013年1月。当初は、2012年12月を予定していたのですが、急きょ決まった衆議院選挙の日程が重なってしまったことから延期を余儀なくされました。それにともなって、認証式典等も次年度(2013年10月)に行われることとなりました。



一般的には、現地審査から1年弱で年間レポートの提出時期となりますので、認証後1年間の活動は、最初の年間レポートを通して確認できます。しかし、栄区に関しては、このような経緯から活動の

状況をお伺いする機会が1年以上なかったため、今回、ご担当者から活動状況と今後に向けての



進め方、新たな体制についてお話できたことは、支援センターとしても心強く感じました。

また、栄区役所に近い駅前のロータリーや区役所ロビーなど各所に、SC活動啓発のための工夫がみられ、区民へのSC活動周知への取組もみることができました。



## 【十和田】職員研修と対策部会を実施

1月28~29日、十和田市において職員研修と8つのうちの4対策部会にセーフコミュニティについて講話を行いました。職員研修は、昨年末から続き、今回の2回で合計6回の開催となります。日々のお仕事とSCとは直接関係がない部課の方たちもおられましたが、いろんな形でSCに関わり、普及していただける事例等も交えてお話をさせていただきました。

加えて、対策部会のメンバーの方たちに再認証申請に向けて求められるポイント等についてお話ししました。特に、再認証にむけて、これまでの取組をアセスメントすることが大切であることをお話ししました。その後、メンバー同士で、今後の取組について議論されました。十和田の対策部会はメンバー構成が小規模なケースもありますが、それゆえに誰もが積極的に参加できる良さがあります。中には、新たなるメンバーとなる方の候補なども議論されていて、今後の展開が期待されます。

## 【松阪市】市長面談及び地域組織へ講演

1月30日、三重県松阪市において市長に面談するとともに、地域のまちづくり組織のメンバーの方たちにセーフコミュニティについてお話をさせていただきました。



市長は、従来から市民の協働によるまちづくりを進めており、松阪市住民の「地域力」の力強さをご説明くださいました。

市長は、従来から市民の協働によるまちづくりを進めており、松阪市住民の「地域力」の力強さをご説明くださいました。



その後、JISC白石がまちづくり協議会の皆様にSCについて説明をしました。続く質疑応答では、予定時間を超えるほど質問やご意見等が次から次へと続きました。

## 【松原市】職員研修6連発！？

2月3～4日および13日の3日間にわたり、松原市では市職員を対象にSCに関する研修を行いました。いずれの日も午前・午後と2回ずつ開催しました。

認証後の今、次の認証に向けてどのように5年間の取組を進めていくかを考えることが大切だということで、全職員を対象に実施され、3日間で消防署員や保育士なども含む500人以上が参加されました。

すでに認証された自治体がどのようにSCを進めているのか、再認証に向けた課題は何か、など国内外の事例を紹介しながら、認証後の進め方、再認証に向けて求められることなどについて説明しました。

初日の午後には、市長も研修会の案内をしている庁内放送を耳にされ、公務の合間に飛び入り参加されました。



## 【久留米市】SC推進に向け説明会を展開

久留米市では、SC活動を今後に向けて更に拡大し、継続していくために、昨年12月に認証式典を終えたばかりにもかかわらず、すでに連日のように地域にでかけ、周知啓発を進めています。



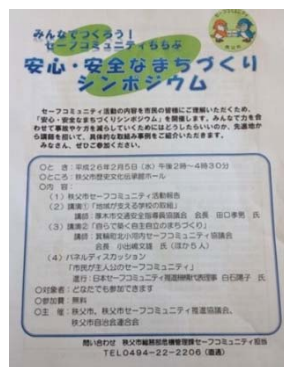
久留米市では、小学校区単位で「校区コミュニティ」が設置され、「まちづくり連絡協議会」がその中心となってまちづくりに取り組んでいます。そこで、このたびは、まちづくり協議会のご協力のもと、各校区コミュニティにおいてSC説明会を実施しています。従来から校区コミュニティの活動は活発で、地域の安全に果たす役割は大きいことから、今後のSC活動の展開も期待されます。



## 【秩父市】安心・安全なまちづくりシンポ

2月5日、秩父市において「安心・安全シンポジウム」が開催されました。

当日は、推進協議会や対策委員会の委員をはじめ、市民の方に広くSCについて知っていただくとともに、すでに地域で住民が主体的に展開している取組がSCの基盤となることや、特別な人たちがやっているわけではなく、地域の住民のみなさんこそがキーパーソンなのだと実感していただくため、厚木市と箕輪町でSC・ISS活動をけん引されている地域のリーダーがご経験をお話くださいました。市長はじめ参加者のみなさんは、熱心に厚木市と箕輪町のお取組に耳を傾けておられ、あっという間に時間が過ぎたと感じる充実したイベントとなりました。



【左】田口氏（中央）が厚木市のSCとISCの事例を紹介されました。

【右】箕輪からは、北小河内地区でSCを推進しておられるKSCのみなさん。



## 【北本市】安心・安全なまちづくりシンポ

2月7日、北本市においてSC推進協議会が開催されました。今回は、昨年10月のプレ現地審査以降の取組状況について、対策委員会の代表の方がご報告されました。対策委員会は、当初はゆっくりとした歩みで事務局も心配されましたが、しっかりと議論を重ねてきたこともあり、プレ審査を経て取組は加速して積みあがっているようです。



会議終了後、市長から「対策委員会の取組みはすすんできたが、SCは対策委員会だけの活動というイメージになってしまわないよう、全市で取組む体制を作っていきたい」とのご意向をお伺いし、「推進協議会の皆様は地域のキーパーソンですので、まずは、この方たちがどう推進して下さることができなのか、その方法を考えてまいりましょう」とお答えしました。



【発行】一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構  
※問い合わせは下記ヘッダーの連絡先まで